

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 夢楽園
日付	平成19年3月9日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

### 外部評価の結果

<p><b>概評</b></p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>施設の隣には大きな空き地があり、子供たちが自転車に乗ったりキャッチボールをしたりする楽しそうな声が聞こえます。また、散歩に出かけた際には近所の人が声をかけてくれ、入居者は地域の生活音を感じながら日々過ごしています。</p> <p>親会社が何件もグループホームを手がけており、それぞれの施設の良いところを随所に採り入れるなど、とても快適な施設になっています。管理者は、基本理念をしっかりと職員に伝え、自ら今何をすべきか考えて行動する事を求めています。職員も最初は戸惑いがあったようですが、次第に積極的に行動出来るようになったようです。また、代表者と管理者の信頼関係もしっかりと築かれており、職員が安心して自分の考えを実行できる環境が整っています。</p> <p>1日に何度も外に出たがる入居者には、納得できるまで歩いてもらい、時に1時間を越える事があっても職員は付き添い、自分のペースで生活してもらえよう心がけています。</p> <p>管理者は入居者の家族と入居時や面会時によく話し、グループホームとして出来ること、出来ないことをきちんと伝えていきます。家族には2週間に1度は面会に来てもらいたいと伝え、全ての家族に理解されているので、継続が力となるでしょう。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>グループホームが出来てまだ日も浅いので、ホーム機能の還元はこれからのようです。また職場体験やヘルパーの研修・受け入れなどを行っているので、幼稚園や小学校とも交流をを広げ、地域との連携を深めていくと良いと思います。</p> <p>現在入居されている方は、まだ介護度が低いため、身のまわりのことは自分でできていますが、加齢と共に介護度が上がった際に、現状のような対応出来るかどうかという検討なども必要だと思います。</p>

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述式で回答)		
記述回答	“明るく家庭的な雰囲気の中で「なじみ」の関係を作り、穏やかに生活していただける環境づくり”“一人ひとりを大切にその人らしく「みんなが主役」の生活作り”を目指します。クリスマスの時、入居者に対して感謝状を渡しました。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違え等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 玄関は、カギを掛ける事なく、自由に暮らせるように職員は見守りを重視しています。常に外に出ようとすると入居者には少し距離を置きながら着いて行き、疲れたら車で連れて帰ります。行動の制約を少なくして、ストレスを貯めないようにしています。また、常に、言葉かけ、寄り添いを忘れないように職員全員に徹底しています。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) ・入居者の好きな事を自由にやらせてもらいます。食事の準備や片付けなど得意な方にはお願ひしていますが、いつもお願ひすると気分を害する事もあるので、様子を見ながら言葉かけをしています。 ・煙を手伝ってくれる入居者もいて、草取りや水やりなどをお願いしています。手伝うと嫌がる事もあるので見守りに徹しています。 ・面会時に書いてもらう名前をカード式にしてプライバシーに配慮しています。 ・失禁時にはさりげなく言葉かけをして、居室で着替えをしています。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	日常の生活をするうえで行動出来るだけ自分で行ってもらい、身体機能の低下を防ぐような介助にあたり、また、職員を勉強会や研修会に参加させてレポートを書かせてもらっています。 ・入居したばかりの方への介助方法を探るため職員全員で観察し、定期的な会議の中で入居者に関する事を随時話し合っているため、職員からはよく意見が出るようです。 ・転倒を防ぐために、居室に置いているポータブルトイレや移動用のバーに鈴を付け、職員がすぐ気づくように工夫しています。		